



## 進路選択 どう挑む？

5月7日、半田中学校を卒業した半田農業高校の1年生の生徒さんが、母校訪問に来てくれました。どの生徒さんも、目をキラキラさせて、「高校生活は楽しい」と言っていたので、半田農業高校の魅力は何かを尋ねてみました。すると、これまで中学校では学べなかった新しいことを学べる喜びを感じていて、自分の就きたい将来の夢に向けて、この学校だったら夢を叶えることができると言っていました。

私は、この生徒さんたちは、中学校のときに、自分のやりたいことを明確して進路選択をしたのだと思いました。そして、話を終えた生徒さんたちは、高校で育てた花の苗を、プランターに植えて帰って行きました。とてもすがすがしい光景でした。

さて、3年生の皆さんは、これから卒業後の進路選択を考えていくとともに、新しい進路でがんばれる力をつけていく時期になります。あきるくらい耳にしたと思いますが、3年生の皆さんは、受験生です。これから、自分の進路選択をどのように考え、入試に向けてどう挑んでいったらよいのでしょうか。

まず、進路選択について考えを述べたいと思います。

知多半島5市5町の中でも、半田市には一番多くの高校があります。漠然と高校に行きたいと言っても、いろいろな高校があります。例えば、半田高校、半田東高校は同じ普通科高校ですが、学校の特色や校風、高校卒業後の進路にも、違いがあります。他に、農業高校、工科高校、商業高校がありますが、それぞれ授業内容が全く違います。

まず、進路選択で大切にしてほしいことは、高校のことを知ってください。オープンキャンパスや学校説明会が予定されていると思いますので、実際に足を運んで、高校の説明を聞くなど、高校を肌で感じてみることもよいと思います。

もう一つ、大切にしてほしいことは、自分のことを知ってください。

自分は、どんな勉強が好きなのか。高校で何がやりたいのか。ものづくりが好き、動物や植物の世話が好き、栄養のことを学びたい、AIのことを学びたい、就職に有利な資格をとりたいなど、さまざまあるでしょう。また、自分は人から言われなくても自分から勉強するタイプだから、自由な校風の高校がいいとか、自分は人から言われなければ自分からなかなか勉強できないタイプだから、先生が一生懸命かかわってくれる高校がいいといった、自分の特性から進路選択を考えることも大切です。自分のことがわかると、進路選択が見えてくると思います。

次に、入試にどう挑むかについて述べたいと思います。

入試は、皆さんのこれまで積み重ねてきた学力が合否を判定する基準となります。だからこそ、学力はつけた方が、進路選択の幅が広がります。

1学期は、中間テストがなく、期末テストのみですが、期末テストだけで成績がつくわけではありません。それぞれの教科の単元末テストや基礎的な知識を養う小テスト、さらには学習課題に対して、考え、判断し、表現する力など、日々の学習の積み重ねを評価して成績をつけています。だからこそ、毎日の授業で、できないことをできるようにする努力を大切にしてほしいです。入試とは、求められている問題を正確に読み取り、自分ならどう考えるのかを発揮する場です。知識があれば、よりさまざまな考え方ができるということになります。学習塾では、よく偏差値という数値が合否の判断基準で示されますが、私は、必要とされる学力に対して、自分はどれだけ到達しているか、前と比べてどれだけ成長したのかといった努力の変容を自己内評価として意識しながら、日常の授業を大切にしてほしいです。

3年生の学年目標は、「自立と共生」です。社会で自立する力をつけることと、人は一人では生きていけないからこそ、人から愛される生き方、人柄を磨いていくという意味が込められていると思います。ぜひ、進路選択を考えていく時期に、自立する力と人間性を磨いていってください。

シドニーオリンピックのマラソン金メダリストの高橋尚子選手は、「夢が目標が変わったとき、道は開ける」と言っています。

あの坂本金八先生は、「憧れが夢に、夢が目標が変わったとき、人は必ず大きくなれる」と言っています。

目標をもったら、人は動き出します。  
自分を信じて努力し続ける人であってください。  
「こつこつ勝つコツ」です。



最後に、保護者の皆様には、お子さんの進路選択にあたり心配も多いことかと思えます。進路選択は、最終的にはお子さんが決めます。保護者の皆様には、お子さんが悩んでいるようでしたら、よく話を聞いて、励ましや声かけをお願いいたします。

学年担任一同、お子さんの大切な進路選択に向けて、しっかりかかわって参りますので、何か心配事がございましたら、気軽にご相談ください。

どうぞ、よろしく願いいたします。